

連携室だより

鹿児島医セン

鹿児島医療センター(心臓病・脳卒中・がん専門施設)

2024.6 vol.218

職場紹介

【東8階病棟】

東8階病棟は、循環器疾患とCOVID-19を中心とした感染症患者さんを受け入れる混合病棟です。

循環器としては、主に狭心症や心筋梗塞などの虚血系心疾患やうつ血性心不全、術前精査などを行っています。治療・検査として、心臓カテーテル検査やバルーン拡張術、薬物療法を行っている患者さんの看護を行っています。急性期、回復期、慢性期、終末期と様々な状況にある方が入院していますが、近年は高齢化が進み、認知症や様々な合併症を持った方も多い状況となっています。その中で、虚血性心疾患やうつ血性心不全などに対しては、自己管理能力を考慮した個別性のある生活指導やご家族への指導・支援を心がけています。また、安心して自宅で生活が送れるよう、入院時より退院後を見据えた退院支援カンファレンスを行いながら、多職種との連携を強化しています。セルフケアに関してもパンフレットを用いて生活指導を行っています。

感染症では、小児から高齢の方までと年齢層も幅広く、主に薬物療法を行なながら、状態に合わせた日常生活援助や、看護師ができるリハビリを行っています。また、社会と離れた閉鎖的な空間での入院生活を余儀なくされるため、一人ひとりの思いを傾聴しながら援助を行っています。時には気分転換や筋力維持、他者との交流を目的にレクリエーションを行ったりしています。また、他病棟から転棟されてきた方については、原疾患の治療が継続できるよう、勉強会を行なながら関わっています。

患者さん一人ひとりが、入院生活を安心して過ごすことができるよう、心安らぐ温かいケアの提供を目指しています。

(文責:看護師長 青山 紗子)



▲心臓カテーテル検査からの帰室



▲患者さん同士のレクリエーション

研修医の声



秋元 あこ



4月より鹿児島医療センターで研修させていただいております、秋元あこと申します。生まれ育った鹿児島で医師として働くことができることを大変嬉しく思っております。

4.5月は脳血管内科で研修をさせていただいております。カルテの使い方や病棟業務、急患対応など慣れないことばかりですが先生方やコメディカルのスタッフの方々のご指導のおかげで日々成長を感じられています。5月からは救急外来での夜勤も始まり自分の力不足を痛感する一方で、出来ることが増えていくことに嬉しさも感じています。

3年目以降どの診療科に進むかは未定ですが、どの科に進むにしても初期研修の2年間で学んだことは必ず役に立つと思うのでこの2年間でより多くのことを身につけていきたいと考えております。まだまだ未熟で至らぬ点もあるかと存じますが、有意義な研修期間となるよう精一杯努力いたしますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

川原 弓奈



4月よりお世話になっております、初期研修医の川原弓奈と申します。川崎医科大学を卒業し、6年ぶりに地元である鹿児島に戻って参りました。鹿児島で医師として働けることを大変嬉しく思います。

研修が始まりまもなく2ヶ月が過ぎようとしていますが、指導医の先生をはじめとする多くの先生方、コメディカルの方々、2年目の先輩方に毎日丁寧なご指導をいただきながら、忙しくも大変充実した日々を過ごさせていただいております。このような環境で研修ができるに感謝しています。

大学で得た知識を実践に活かすことがなかなかできず苦戦する毎日ですが、一つずつできることや分かることが増える度に楽しさも感じています。医師としても社会人としてもまだ未熟で至らないところばかりですが、1日でも早く患者さんのお役に立てるよう精進していきたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

久木原 魁士



今年度より鹿児島医療センターで研修させていただいております、久木原魁士（くぎはらかいし）と申します。幼い頃から夢だった医師の仕事を地元鹿児島で始められたことを大変嬉しく思っております。4月と5月を第一循環器内科で学ばせていただき、指導医の先生方からはカルテの使い

方や病棟管理の基本、採血手技や心エコー、カテーテル治療など多くのことを一から丁寧に指導していただいております。緊張する場面もありながら、その中にやりがいや楽しさ、自分の成長を感じ、非常に充実した研修医生活を送ることができます。至らない点ばかりですが、毎日の多くの学びと少しの成長を日々の診療に還元し、指導していただいている指導医の先生方を含めた医療スタッフの皆さん、そして何より患者さんのお役に立てるように、これからも日々精進したいと思っています。



島田 拓実

初めまして。今年4月より鹿児島医療センターで初期研修医をさせていただいております島田拓実と申します。出身は鹿児島で大学時代を宮崎で過ごしこの度地元へ帰ってきました。4、5月は第二循環器内科で研修をさせていただいております。学部での座学を終え初めての現場で、カルテの使い方から手技にいたるまで右も左も分からず苦戦する毎日ですが、指導医の先生方やコメディカルの方々、研修医の先輩方の優しく丁寧な指導でひとつひとつ研鑽を重ねています。また、患者様方と接することはどれもが新鮮な体験に満ちていて、日々医師としてのあり方を学ばせていただいております。自身を育ててくれる周囲の方々への感謝を忘れずに、実りある研修生活にしていきたいと思っております。まだまだ半人前で至らぬ点も多くご迷惑をおかけすることもありますが、謙虚に学ぶ姿勢をもって全力で取り組んでいく所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



土持 友香

はじめまして。研修医1年目の土持友香と申します。私は宮崎県出身で宮崎大学を卒業しました。鹿児島には縁もゆかりもなかったのですが、病院見学の際、先生方の熱心な指導とスタッフの方々の温かさに触れ、このような切磋琢磨できる環境下で働きたいと強く思い、4月から研修させていただいております。

4月初旬、「カテーテル検査の予定期刻が遅れているから何かあつたんじゃないかな心配だ」という患者さんのご家族に、現在の様子を説明した時、「ありがとう…実は職場で最近突然死した人がいたから心配だったの」と言われ、別れ際に重ねてお札をいただきました。まだ何もできない不甲斐なさを感じていたので、医師になって初めて言われた「ありがとうございます」はとても嬉しかったです。出会って良かったと思われるような医師になりたいと思います。

3年目以降のキャリアも悩んでいるので、様々な勉強会に積極的に参加し、適性を見極めていけたらと思っております。

2年間よろしくお願ひいたします。



仲田 圭秀

はじめまして。4月より鹿児島医療センターで臨床研修をさせていただいております、研修医1年目の仲田圭秀と申します。私は最初の1ヶ月は放射線科を回させていただきました。というのも、内科系と外科系どちらを回るにしても画像を見る機会は多くなるだろうと考え、他の科を回る前に放射線科を回り、ある程度の読影が出来るようになればより多くのことが学べるのではないかと考えた為です。最初はほとんど読み方が解りませんでしたが、部長の井手上先生に熱心かつ丁寧な指導をしていただき、また教材を快く貸与していただいた佐竹先生にも指導していただくことで、ある程度自らの目で読影が出来るようになりました。現在お世話になっている血液内科の方でも放射線内科で学んだ知識は活かせているように思います。

2年間という短い期間ではありますが、様々な知識や手技を学び、一人前の医者になれるように努力していきたいと考えております。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。





中村 佳帆

はじめまして。4月から鹿児島医療センターで研修医1年目として勤務しております、中村佳帆と申します。

私は県外の大学に通っていましたが、生まれ育った鹿児島県で働くことができ大変嬉しく思っております。

4月と5月の2か月間は第一循環器内科で研修させていただいており、病棟業務や採血、ルート確保などの基本的な手技、そして救急対応など日々多くのことを学ばせていただいております。臨床現場での貴重な経験を通じて、自分の知識や技術の未熟さを痛感する一方で、指導医の先生方をはじめ、2年目の先輩方やコメディカルの方々に多くの経験の場を与えていただき、少しずつできることも増え、充実した毎日を送らせていただいております。

この2年間の研修では、幅広い知識と技術を身につけたいと考えております。また、患者さん1人1人に寄り添い、信頼される医師になることを目指して日々精進してまいります。

まだまだ未熟で、ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



永山 貴大

令和6年4月1日より鹿児島医療センターで初期臨床研修をスタートすることになりました。自分自身、国家試験に無事合格出来たということと試験からそんなに時間が経っていないということから知識的なものにはかなりの自信がありました。

たが、その知識を実際の臨床現場でどれほど生かすことが出来るのかについてはほとんど自信がない状態でありました。正直な話をしますと失敗して周囲に迷惑をかけて大きく反省し、メンタルをすり減らすということが何度もありました。しかし、その分、学べるスキルやノウハウも多く成長を肌で感じる毎日であります。また、指導医や上級医の指導もしっかりしていて、日々色々なことをやらせてもらえるので毎日が楽しく飽きることがありません。今は鹿児島医療センターで研修をスタート出来てよかったですと考えております。最後になりますが、無事に2年間で研修を終えるようにがんばります。ありがとうございました。



原田 聰

初めまして。4月から鹿児島医療センターで研修をさせていただいております、原田聰（ひろ）と申します。鹿児島医療センターで働くことが夢であったので、実際に働くことができ、大変嬉しく思います。研修が始まり2か月が経とうとしています。

いますが、不慣れなことも多くご迷惑をおかけしていることがあります。自分の未熟さを痛感しながらも、上級医の先生方や各医療スタッフの方々から熱いご指導をいただき、先輩方や同期に支えてもらなが一いつつ吸収する日々を送っております。今後は少しでもお役に立てるよう、毎日の学びを糧にして前進すべく努めてまいります。まだまだ至らない点が多いと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



日高 憲太郎

初めまして、研修医1年目の日高憲太郎と申します。宮崎で生まれ育ち大学も宮崎であった私の仕事は、まず縁もゆかりもない鹿児島に慣れるところから始まりました。新しい環境に不安もありましたが、2か月が経ち、ようやく鹿児島にも仕事をしてきました。

この2か月は毎日新しいことの連続でした。充実した日々で様々なことを経験し、今後も多くを学び早く貢献できるようになりたいと感じる一方、自分の不勉強を痛感する場面が多々ありました。本当に基本のところから指導してくださる先生方やスタッフの方々には大変感謝しております。この2年間で様々な診療科の先生方や看護師、コメディカルの方々に教わりつつ、一歩一歩着実に医師として成長していきたいと思います。ご迷惑をお掛けすることもございますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



堀之内 莉奈

研修医となり働きだして1か月と少しとが経過しました。4月の初めの頃は、電子カルテの使い方から電話の掛け方といった初步中の初步のことまで全てが新しく、分からぬことばかりでした。まるで他の星に来たかのような感覚で、ただただ大きな不安に苛まれる日々でした。しかし、そんな戸惑うばかりの私に対し、先生方や先輩方が始めとする多くの方々が親身になって何度も教えてくださいました。また、同期のみんなにも色々な相談に乗ってもらいました。そのおかげで現在はこの環境にも慣れ、新しいことを習得できているように感じられます。皆様の温かさと優しさには感謝してもしきれません。

研修医として、少しずつではありますが新しい知識や技術を身につけ、一歩一歩確実に自分自身が成長していることを感じています。今後も学び続け、さらに成長していきたいと思います。そして、研修医として少しでも貢献できるよう、これからも努力して参りたいと思います。



村橋 晃

お世話になっております。4月より鹿児島医療センターにて研修させていただいております、研修医1年目の村橋晃と申します。研修が始まり2か月目に入っていますが、生まれ育った鹿児島で医師として働ける喜びを噛み締めながら充実した日々を送っております。

自分は現在第一循環器内科にて研修をさせていただいておりますが、一刻を争う医療の最前線にて医療者としての重責や自身の未熟さを日々痛感しております。指導医の先生を始め、多くの方々のご指導のもと一日でも早く一人前の医師として鹿児島の医療に貢献できるよう研鑽を積んで参りたいと思います。2年間という短い期間ではありますが、どうぞよろしくお願いします。



森元 桃衣

今年度よりお世話になっております、初期研修医1年目森元桃衣と申します。現在、脳血管内科で1ヶ月半学ばさせていただき、最初は右も左も分からず、不安なことばかりでしたが、急诊対応やカルテ記載など今後の医師人生で大切なことを

上級医や指導医の先生方をはじめ、院内のスタッフの方々が丁寧に指導して下さり、成長を実感しております。私はこの2年間で急诊時の初期処置や病棟業務、他科や他コメディカルとのチーム連携などを習得したいと考えており、当院の2年間はこれらのことを持った医師人生の土台作りに最適な研修環境であると感じております。2年間で多くのご迷惑をおかけするかと思いますが、少しでも貢献し、患者様のお役に立てるように努めて参ります。



